



放課後等デイサービス 太陽の花 「5領域に沿ったプログラム」

①健康・生活 ※児童一人ひとりにあった作業療法士による個別の専門的支援を実施

到達目標	支援内容	具体的な支援プログラム例
心身の健康維持と向上を図る 	自らが健康で安全な生活を作りだせる力を育てていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・検温、手洗い ・体調や気分の把握や表出
生活リズムと基本的な身辺自立の確立 	健康的な生活リズムの構築とそれぞれの児童に必要な身辺自立を促していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の荷物の管理、整理整頓 ・衣類の着脱と調整 ・適切な食事の姿勢(おやつ提供時)
健康的な生活をマネジメントする 	健康的な生活環境を維持するために必要なスキルの獲得を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ADL 向上プログラム ※洗濯や掃除等、適切な生活環境を意識できる活動を、集団や個別のプログラムとして提供していく
健康的な食生活習慣が身につく 	食育を通して、食への興味関心を広げ、健康的な食習慣の定着を促していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習、お買い物会議 ・外食機会の提供(適切な量と内容) ・適切な食事の姿勢(昼食提供時)

②運動・感覚 ※児童一人ひとりにあった作業療法士による個別の専門的支援を実施

到達目標	支援内容	具体的な支援プログラム例
個々の児童の身体機能を最も良い状態に近づけ、健全な発達に繋げていく 	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、上肢/下肢の可動域の改善、筋力の向上等を遊びや集団プログラムを通して健全な発達を促していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・上肢/下肢の可動域向上のプログラム(筋トレキット、運動キット、キッズヨガ等) ・公園での運動機会の提供 ・身体機能向個別プログラム(個別の支援を実施)
身体と心のバランスを整えることで、生活の質の向上を図る 	身体のバランス感覚の向上とともに、心の安定を図る力を伸ばし、穏やかに生活できることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・室内運動プログラム(キッズヨガ、ストレッチ&リラク等) ・バランス感覚向上の遊び(バランスボール、平均台、縄跳び等)
保有する感覚の活用方法を身につけ、自己表現力の向上を図る 	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる、また保有する感覚を使った自己表現方法が身につくよう促していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニング ・感覚を刺激するプログラム(さわってみよう、色分けゲーム等) ・音楽プログラム
身体の移動能力を向上させ、安全に日常生活を送れるようになる 	安全な移動能力に必要な歩行や走行のスキルを向上させ、生活圏を広げることを目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での運動機会の提供 ・鬼ごっこ遊び(敷地内裏庭等) ・運動会(10月に実施)

③認知・行動 ※児童一人ひとりにあった作業療法士による個別の専門的支援を実施

到達目標	支援内容	具体的な支援プログラム例
<p>知覚から行動への認知過程の発達を図る</p> 	<p>取得した情報を過去に取得した情報と照合し、的確な判断や行動に繋げることができるよう促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製作プログラム (認知の形成、工作用具の使い方等) ・粘土やスライムを使った遊び (物質の変化と感覚の認知形成) ・ビジョントレーニング ・音楽プログラム
<p>空間、時間、数等の概念を形成することで、外部環境の認知と適切な行動の習得を図る</p> 	<p>空間、時間、数、大きさや重さなどの概念を形成することで、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるよう促します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日や天気を絵カード等を使い具体的に掲示 ・活動スケジュールを絵カード等を使い具体的に掲示 ・時計やタイマーを使い、時間認知や時間を守った行動を促す関わり ・アルバム作り
<p>自身の認知特性を理解し、様々な事象への認知・行動の適応力の向上を図る</p> 	<p>一人ひとりの認知の特性を理解し、児童自身が外部からの情報を適切に処理できることを目指していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事（夏祭り等） (季節の変化や時間の流れを知る) ・順番を守る、順番を待つ経験 ・伝言ゲーム
<p>日常生活上の困難さに繋がる行動の予防と対応力を向上させる</p> 	<p>感覚や認知の偏りから生ずる生活の困難さへアプローチすることで、適切な行動への変容を促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トランプやカードゲーム (小集団の中での適切な行動の獲得や他者の認知の隔たりへの配慮) ・認知改善プログラム (個別の支援を実施)

④言語・コミュニケーション ※児童一人ひとりにあった作業療法士による個別の専門的支援を実施

到達目標	支援内容	具体的な支援プログラム例
<p>言語の受容と表出ができるようになり、言葉でのコミュニケーションの幅を広げていく</p> 	<p>朝の会や帰りの会等で自身の体験や感想を言葉で伝える機会を作り、体験と言葉の意味を結びつけ、適切な表現方法が身につくよう促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会や帰りの会での感情表出 朝の会や帰りの会での司会役 言葉を使ったプログラムや遊び（伝言ゲーム、言葉遊びゲーム等） 日々の関りの中で言語表出を促す会話をを行う
<p>言語や文の形成と活用ができるようになり、コミュニケーションの基礎的能力の向上を図る</p> 	<p>小グループでの活動機会を提供することで、自身の意見を表出する、または他児童の意見を傾聴するよう促し、言葉を使ったコミュニケーションスキルの向上を目指していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 小集団での意見交換プログラム ※意見の表出と傾聴を促し、2～3人の小グループ内での適切なコミュニケーションスキルを学ぶ機会を提供していく。 （買い物会議、おやつ会議等）
<p>他者との相互作用によるコミュニケーションスキルの獲得を図る</p> 	<p>児童一人ひとりにあったコミュニケーション手段を用いて、他者との円滑なコミュニケーションができることを促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の特性により、絵カードや表情カードを使った意思疎通支援 児童同士の関係調整 コミュニケーション向上プログラム（ジェスチャーゲーム等）
<p>獲得したコミュニケーション手段の適切な選択と活用ができることで、コミュニケーションスキルが育っていく状況に応じて適切なコミュニケーションが取れるようになる</p> 	<p>挨拶や受け答え、また適切な言葉を使った他者とのコミュニケーションができるよう、日々の関りや児童同士の関りを仲介することで、より良い言葉の選択を促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童同士の関係調整 会話を通して、適切な言葉使いが身につくような関り 話し方向上プログラム（個別の支援を実施）
<p>読み書きの能力の向上を図る</p> 	<p>児童一人ひとりの苦手に対して、個別にアプローチすることで読み書きの能力が向上するよう促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読書や読み聞かせの充実（図書館から本を借り児童に提供） 個別課題の提供

⑤人間関係・社会性 ※児童一人ひとりにあった作業療法士による個別の専門的支援を実施

到達目標	支援内容	具体的な支援プログラム例
<p>社会性の向上を図る</p> 	<p>協力、役割分担、規範意識などの社会的スキルを獲得できるよう促していきます。遊びや活動への参加を通して、ルールやマナーを知り、守る意識の醸成を促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール等を文字や絵カードを使い具体的に掲示する ・SST(ソーシャルスキルトレーニング)の実施 ※公共のルールやマナーについての学習を集団プログラムにて実施 ・買物実習、外食等の外出プログラム ・ルールの理解が必要な遊びの提供 ・模擬店(駄菓子屋さん)
<p>仲間作りや集団への参加意欲の向上を図る</p> 	<p>一人遊びから、職員の介入を通して他者と関わる機会を作りながら、仲間作りの大切さに気付けるよう促します。集団の中で適切な振る舞い、意見や感情の表出等ができるようになることで、集団参加への意欲の向上に繋げていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性に配慮した遊びの提供 ・児童同士の関係調整 ・様々な集団プログラムに参加することで、集団の中での振る舞い方を知る機会を提供する ・おやつ会議、買物会議、SST(自身の意見や感情を表出する) ・小集団～大人数の遊びへ繋げる
<p>他者と適切な関係を構築できる</p> 	<p>周囲の人と安定した関係を築けることを目指し、遊びや集団プログラムへの参加を通して他者との関わり方を学ぶ機会を提供していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで行うプログラム ※他者と協同する環境の提供(合同製作、チーム戦の遊び等) ・役割分担のあるプログラム ※小集団の中で各自が役割を持つ(合同製作、SSTの発表等)
<p>アタッチメントの形成を通して、情緒の安定を図る</p> 	<p>一人ひとりの「できた」を積み重ねることで自己肯定感高め、安心感を持って過ごせる環境を作ることで、信頼関係の築き方を学び他者とのより良い関係構築に繋げていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員との関係構築(安心感) ・共感的な言葉かけ、かかわり ・プログラムへの参加を通して「できた」という成功体験の積み重ね ・児童のプライバシーの保護(個別で話せる空間の設定)
<p>児童の自己理解を深め、行動や情動の調整力の向上を図る</p> 	<p>遊びや集団プログラム、また学習機会を通して、児童が得意/不得意など自分自身の特徴を知ること、外部環境との関わりの中で行動や情動の調整ができるよう促していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や個別課題による学習支援 ・様々な集団プログラムへの参加を通して、自己認知の機会を作る ・外出レクや地域交流イベント(外部環境の中で自身の行動や情動の調整を図る機会を提供する)
<p>集団や社会の中で、安全に過ごすために必要なスキルの獲得を図る</p> 	<p>安心して過ごせる環境を作ると共に、児童自身が安全を選択できる力を育てていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練、避難訓練 ・SST(ソーシャルスキルトレーニング)の実施(プライベートゾーン、どっちがカッパイ?) ・お金に関するSST